経営比較分析表（令和3年度決算）

愛知県　尾張旭市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc1	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	74.55	84.60	94.09	2,420

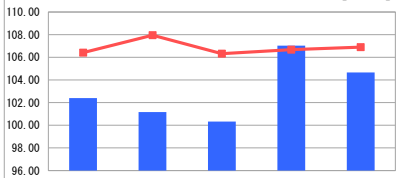
人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
84,034	21.03	3,995.91
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
70,980	9.73	7,294.96

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

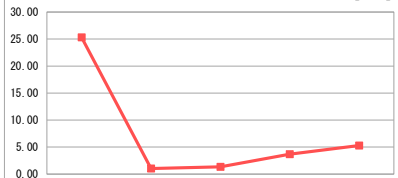
【107.02】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	102.40	101.17	100.33	107.03	104.67
平均値	106.41	107.95	106.32	106.67	106.90

②累積欠損金比率(%)

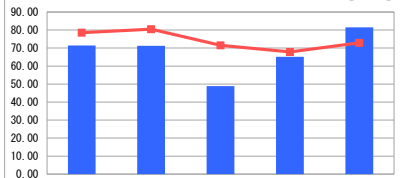
【3.09】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	25.32	1.03	1.35	3.68	5.30

③流動比率(%)

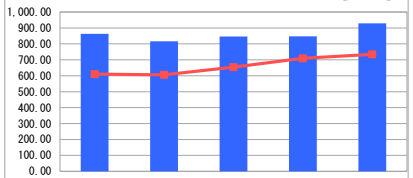
【71.39】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	71.47	71.20	48.92	65.17	81.50
平均値	78.56	80.50	71.54	67.86	72.92

④企業債残高対事業規模比率(%)

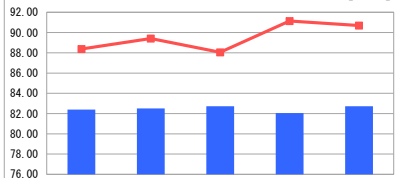
【669.11】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	862.95	815.91	846.52	847.16	928.80
平均値	610.17	605.90	653.69	709.40	734.47

⑤経費回収率(%)

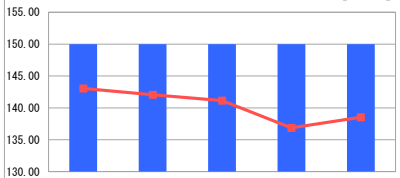
【99.73】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	82.40	82.50	82.72	82.04	82.72
平均値	88.37	89.41	88.05	91.14	90.69

⑥汚水処理原価(円)

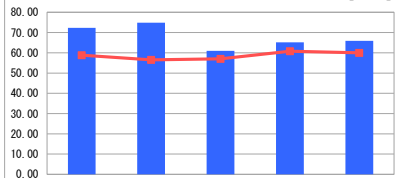
【134.98】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
平均値	143.05	142.05	141.15	136.86	138.52

⑦施設利用率(%)

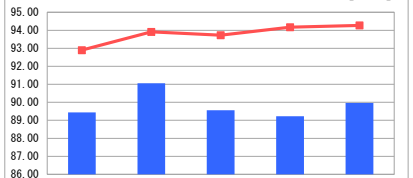
【59.99】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	72.35	74.83	60.98	65.17	65.86
平均値	58.83	56.51	57.04	60.78	59.96

⑧水洗化率(%)

【95.72】

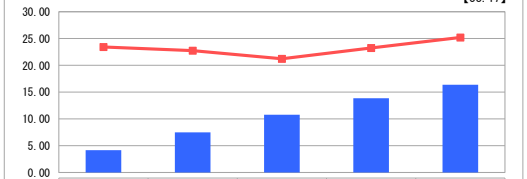


	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	89.44	91.06	89.56	89.23	89.97
平均値	92.90	93.91	93.73	94.17	94.27

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

【38.17】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	4.18	7.49	10.78	13.85	16.37
平均値	23.42	22.74	21.22	23.25	25.20

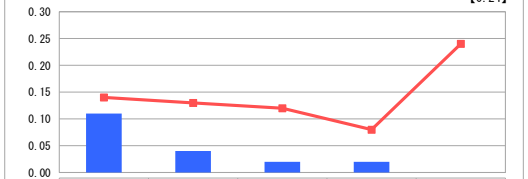
②管渠老朽化率(%)

【6.54】

	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.15	0.18	0.83	1.06	2.02

③管渠改善率(%)

【0.24】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	0.11	0.04	0.02	0.02	0.00
平均値	0.14	0.13	0.12	0.08	0.24

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経営収支比率は類似団体をわずかに下回っています。100%は超えているものの一般会計からの繰入金に依存しているため、引き続き経営の健全化が必要です。
③流動比率は前年度から16.33ポイント上昇し、類似団体を上回りましたが、100%を下回っています。これは、企業債償還金が多く現金保有が少ないためで、支払能力を高めるための経営改善が必要です。
④企業債残高対事業規模比率は類似団体と比較して高くなっていますが、これは令和７年度を市街化区域の概成年度と位置付け、面整備と処理場の改築を推進しているためです。今後も適切な借入と償還を実施しながら、経営改善と事業の推進に努めていきます。
⑤経費回収率は前年度から横ばいで類似団体より低く、100%を下回っています。引き続き経費削減に努めるとともに、今後、使用料の改定の検討が必要となります。
⑦施設利用率は前年度から横ばいで類似団体を上回っています。今後も供用開始区域の拡大により処理水量は増える見込みのため、適切な時期に処理場の増設を実施し、適正規模の施設維持に努めます。
⑧水洗化率は前年度から横ばいで類似団体より低くなっていますが、これは供用開始区域の拡大により処理区域内人口が大きく増加しているためです。引き続き未接続世帯に対する啓発を実施し、水洗化率の向上を図っていきます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は前年度より上昇したものの、類似団体より低くなっています。これは平成29年度に法適化した際に、過年度の減価償却累計額を計上していないためと考えられます。
②管渠老朽化率及び③管渠改善率が0%で類似団体より低いのは、布設から50年経過する管渠がまだないためであり、管渠の改築更新の緊急性は今のところ低いと言えます。今後は老朽化に伴う更新需要が徐々に拡大していくため、ストックマネジメント計画に基づき、適切な維持管理・更新を行っていきます。

全体総括

経費回収率が低く、不足分を一般会計からの繰入金に依存している状態が続いています。
引き続き市街化区域概成に向けて下水道整備を進めるとともに、供用開始後30年以上経過し、今後は老朽化施設の修繕や改築、管渠の更新等も増えてくるため、多額の事業費が必要となります。
このため、費用の縮減・自主財源の確保を図るとともに、適切な企業債の借入など、健全な経営の維持に努めます。また、今後使用料の改定の検討に取り組み、その結果を反映させて経営戦略を令和６年度に見直しする予定です。